



第20回症例検討会 研修会報告



日 時	2025年1月26日(日) 10:00～12:30
場 所	神戸薬科大学 地域連携サテライトセンター
テ ー マ	SGD(スモール・グループ・ディスカッション)による症例検討 『高齢者のポリファーマシー対策 ～処方見直しのアプローチをマスターしよう～』
講 師	<講師> 東原 和美 先生 (日本バプテスト連盟医療団 バプテスト老人保健施設 医務部 主任薬剤師) <コーディネーター> 辻井 理津子 先生(介護老人保健施設 すばる六甲) 富永 由美 先生(虹薬局南千里店) 安井 友佳子 先生(堺市立総合医療センター薬剤・技術局)
受講者数	11名
認定単位	1.5単位
受講料	2,000円

【講義】



講 師
日本バプテスト連盟医療団 バプテスト老人保健施設 医務部 主任薬剤師 東原 和美 先生

【グループ・ディスカッション】

※受講生の画像は、モザイク処理をしています。



スモール・グループ・ディスカッション1
患者情報の収集・他職種連携について

スモール・グループ・ディスカッション2
服薬支援・処方提案・経過観察について



【アンケート(抜粋)】

- ◆ポリファーマシーに直面しても、処方提案となると実行しにくいと日々思っておりました。患者様の状態や希望などふまえて、良好な薬物治療が実践できるようになりたいと思いました。
- ◆非常に勉強になりました。ありがとうございました。東原先生のお話はわかりやすく、今後在宅医療において役立つことが多くありました。又、グループディスカッションで一緒させていただいた薬剤師の先生方のお話も、さすが経験の上でのお話だったりと、新しいことを多く学びました。
- ◆大変役に立つ講義をありがとうございました。今後の業務に活用いたします。

etc.

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



神戸薬科大学
Kobe Pharmaceutical University



神戸薬科大学エクステンションセンター